



本好き集まれ!!



こちらのQRコードから市議会
のホームページが閲覧できます。

木更津市議会

検索

令和7年度一般会計補正予算	2
議案審議	3
一般質問（個人）	4～7
発議案	8
情報開示制度の施行状況、「市議会だより」ができるまで	9
委員会の行政視察	10
行政視察の受入れ	11
Topics～ビブリオの会を取材～	12

令和7年度一般会計補正予算

12月定例会後 一般会計予算 606億6,713万3千円 使い方をチェック!

令和7年度当初予算
計581億2,200万円

3月定例会～6月定例会
計586億9,226万5千円

9月定例会
計592億7,925万8千円

12月定例会
+13億8,787万5千円
計606億6,713万3千円

生活者物価高騰対策支援給付金給付事業費 4億1,100万円

生活者物価高騰対策支援給付金給付事務費 7,838万8千円

国からの交付金を活用し、木更津市在住の全市民に對し、現金給付を行うための費用を計上します。

対象者は、令和8年1月1日に本市に住民票のある方であり、原則として世帯人数に応じた額を、世帯主にまとめて給付します。市で口座情報を把握している方は、お知らせのハガキを郵送し、把握していない方には、確認書を郵送します。

Q DV避難世帯や、世帯分離が必要なケースの配慮はするのか

A 配慮する。その上、コールセンターを設置し対応する。

(国 4億3,462万6千円 市 5,476万2千円)

道の駅施設改修事業費 2,000万円

道の駅「木更津うまくたの里」の第2駐車場の拡張整備にあたり、利用者の利便性・安全性を考慮し、出入り口部分を拡幅する工事が必要となったためにかかる費用を増額します。

Q 第2駐車場拡張整備により駐車台数は何台になるのか

A 現在は106台である。拡張整備後は107台増加し、合計213台となる見込みである。

(市 2,000万円)

生活保護総務諸経費 20万2千円

生活保護システム関係諸経費 121万円

生活保護の新規開始世帯数が増加していることから事務に係る消耗品費、また、システム改修に必要な経費を増額します。

Q 生活保護を受ける方が増えたというのは、どのような理由が多いのか

A 高齢者の方で働けなくなったりなどの理由が多い状況である。

(国 60万5千円 市 80万7千円)

(仮称)木更津市農業支援センター 整備費補助金 270万円

農業支援センターの設立について、令和8年4月の開業に向けた調整が整ったことから、賃借する事務室や倉庫の一部改修費用等に要する経費を計上します。

Q どのような人員が配置されるのか

A センター長を含め数名の配置を考えている。調整中ではあるが、市職員2名、農協職員1名、直接雇用職員1名を予定している。

(市 270万円)

小学校施設老朽化等改修事業費 350万円

波岡小学校屋上防水改修工事において、工事中に発生する騒音と振動への配慮を目的として、防水工法の仕様を変更するための費用を増額します。

Q 防水工法の仕様を変更するとは、具体的にどのような方法に変更したのか

A シート防水という仕様から、塗布防水という仕様に変更をした。

(市 350万円)

健康増進センター維持管理費

104万円

健康増進センター（いきいき館）において、プールに温水を供給する設備の一部である膨張水槽の配管を修繕する費用、また、管理区域内の松の木が松枯れを起こしているため、伐採除去に要する費用を増額します。

Q 配管の修繕が必要な理由は

A 施設点検を実施した結果、配管の腐食が判明したため修繕を行う。

Q 今回の修繕によりどの程度の期間、問題なく使用できると見込んでいるか

A 10年程度は問題なく使用できると見込んでいる。

(市 104万円)

議案審議

令和7年12月定例会で審議された議案等を公開しています。



児童遊園を都市公園に変更	一の坪	住吉
	大境	住吉中央
	貝渕	関谷
	かずさ	高砂
	上根岸	高柳
	北片町	中片町
	新川田	真里谷
	新田	若木町
	新田第二	若葉台



住吉児童遊園



廃止する
デジタルサイネージ

設置場所	基数	今後は
木更津駅西口	5基	廃止
木更津駅東口	2基	
金田インターBT	1基	
金田インター出口付近 トライビジョン	維持	

A 検討中である。

Q 児童遊園を廃止する理由は、国の補助金を活用して、遊具などの整備ができる。
Q 児童遊園には、市有地や寺や神社、集会所など民有地もある。都市公園にする選定理由は、選定した18カ所の児童遊園はすべて市有地である。

A **Q** 児童遊園を廃止する理由は、国の補助金を活用して、遊具などの整備ができる。

	数	令和8年3月まで	令和8年4月から
民有地	17	児童遊園	児童遊園
市有地	4	児童遊園	児童遊園
市有地	18	児童遊園	都市公園

A **Q** 繼続設置・活用は検討しなかったのかを踏まえ、継続活用の検討・提案をしてきたが、広告料収入の伸び悩みや毎年支出する維持管理費によつて赤字が続いており、総合的な判断で廃止となつた。

A **Q** 意見公募の結果は、継続活用を求める意見が6件あつたが、スマートの普及により閲覧者が極めて少なく、情報配信の為の役割を終えたと判断。

A **Q** 今後の情報発信やまちづくりの在り方は、市公式LINEやSNSでの発信や観光案内所、また中心市街地での駅前新庁舎・(仮称)市民交流プラザ・吾妻公園文化芸術施設等の整備や富士見通り歩道再整備の推進により、まちの魅力発信に努める。

何が変わる？仕組みが変わる！

暮らししが変わる！

議案第75号 木更津市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について

市内18カ所の児童遊園を都市公園にするので、条例改正

議案第79号 木更津市公共案内看板設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
現在設置している全8基のデジタルサイネージを廃止するため、関係する条例の一部を改正します

議案第80号 木更津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

全国で相次ぐ林野火災を踏まえ、注意報・警報を的確に発令し、予防の実効性を高めます

乾燥・強風時に増える林野火災に備え、生活様式の変化を踏まえて実態に合わない規定を整理、たき火等のルールを分かりやすく明確化し、防火と暮らしの両立を推進します。
【令和8年1月1日から変わります】

◎旧規定の整理

屋内で裸火を使う際「窓や出入り口を閉める」など、実態に合わない規定を削除

◎注意報・警報を新設
注意報＝注意喚起（安全行動を促す）
警報＝火気使用の制限（より危険度が高い）

◎たき火の届出基準を明確化

通常の家庭BBQは原則届出不要。キヤンプ火等、火炎や煙が大きいものは届出対象。

◎運用を絞れる

乾燥期など、必要な期間・区域に限定して届出を求められる仕組みを整備。

◎罰則の整理

林野火災警報発令中の違反は消防法により罰則対象。（罰金30万円以下・拘留等）

議員が聞いた! 今とこれから 一般質問

14人の議員が大項目32点、小項目187点にわたり、一般質問を行いました。
紙面の都合上、質問議員が大項目1点を選び、質問と答弁を掲載しています。

一般質問とは、議員が市の事務の状況や今後の方針などを問い合わせたまし、市民のための適切な市政運営が行われているかをチェックするものです。

質問議員
顔写真下
QRコード

質問議員の録画中継

質問議員の録画中継を公開しています。

答 この他に私が要望したこと
木更津市の公園のうち約100公園は自治会や町内会の皆様に清掃協力団体として年3回の除草を実施していただきおり、市はその経費を協力金として1団体あたり平均額で約25万7千円支給しています。
↓
年4回の除草を希望する団体には協力金の額を増額支給していただきたい。

答 8公園の他には雑草の繁茂が著しい公園はないため年4回に増やす予定はないが苦情や要望に応じて適宜検討していく。



市HP手話ワンポイントレッスン

答 今後は「えんかく+」をはじめとするICO+を活用したあらゆる伝達手段について、本市に適したサービスの導入に向け、検討を進めていく

答 里山地域で定住人口の増加につながる魅力を活かした取組も進め

問 農村部で非農家世帯の住宅が建築可能となる条例改正が進められているが農泊・民泊体験を定住につなげて地域の活性化を進めるべきではないか

問 農村部の観光地[KURKKU FIELDS]



堀切俊一議員



渡辺厚子議員



近藤忍議員

すべての公園の除草回数を年4回に増やせないか

障がい福祉施策向上のために観光を活用して地域の活性化を進めるべきではないか

問 市民から「今年は公園がきれいになつた。除草回数が増えたのでは」との声があつた。実際はどうか

答 令和5年9月定例会での議員からの提案を受け、雑草の繁茂が著しい8つの公園を対象に、夏場に2回追加し年4回の除草を実施している。

問 遠隔手話通訳サービス「えんかく+」は電話リレーサービスや意思疎通支援事業で対応できない場面で通訳を提供できるようにするために開発された個人向けのサービスだが、自治体が定額プランを負担して、登録者が利用できる取組が進んでいく。365日8時から21時までどこでも利用が可能で、特に緊急時や災害時に役立つことができる

答 観光を入口にして木更津市の認識を深め「転勤しない移住」に結び付けるべきである。鴨川のように第一次産業も活用すべきと思うが構想は有るか

問 農泊・民泊などで農業と食の循環体験を提供できるポテンシャルはある。地元の方々や民間事業者と連携し地域活性化に向け取り組む。

答 観光を活用して地域の活性化を進めるべきではないか



本会議の中継

本会議の様子を生中継(当日のみ)、録画中継で公開しています。



一般質問の全文(会議録)

令和7年12月定例会の会議録は令和8年2月上旬に公開予定です。

また、図書館、各公民館でも閲覧することができます。



議員の情報

連絡先等を公開しています。



一般質問資料

議員が一般質問する際に使用した資料を公開しています。

公開期間: 次の議会が始まる前日まで

田中 紀子 議員



圧縮した二酸化炭素をパイプラインで内房から外房まで運ぶ
答 このCCS事業は決定したことか
答 正式決定ではない。現在、事業者が事業が実現可能か検討のための設計や調査などを実施している段階である。

問 住民への説明・周知は
答 パイプライン沿線の自治会を対象に首都圏CCSの株式会社が主催し、令和7年7月に2回開催。各回とも3名参加。

問 地震や地殻変動を懸念するが
答 必要により行つ。

高濃度のCO₂は窒息性を有し、CCS事業による海外でのCO₂漏洩事故
高濃度の二酸化炭素には窒息性があり、海外では輸送パイプラインの破損によるCO₂漏洩事故が発生し、周辺住民が呼吸困難や体調不良を訴え、避難を余儀なくされた事例が報告されている。
代表的な事例として米国ミシシッピ州の事故があり、その原因是地滑りだった。

木更津市のヤングケアラーについて
答 木更津市では、いじめ家庭センターを相談窓口に開設し、ヤングケアラー支援に取り組んでいく。今後は、認知度の低さにより把握が難しいことの課題を踏まえ、広報啓発を強化し、学校や地域の大人の気づきを高めることで早期発見につなげていく。また、相談につながりないケースも想定されることで早期発見につなげていく。また、当事者の意向に寄り添い、見守りを含めた継続的かつ包括的な支援を進めていく考えである。



安藤 順子 議員



竹内 伸江 議員



多文化共生と国際交流の推進を通じた平和への取り組みを
答 「人と自然が調和し、世界と共に歩む社会」を目指し、全国に先駆けて掲げた自治体共同首長宣言「オーガニック・ビレッジ2035」の実現に向けての取組を伺う

答 来年度、立ち上げ予定の「オーガニック・ビレッジ全国首長の会」で、全国に150ある「オーガニック・ビレッジ自治体」間の連携強化を行つ。

問 平和意識を育む若い世代への取組をどのように進めるのか
答 子どもが「平和」について考えるきっかけを作り、戦争や暴力のない社会の大切さを次世代に繋げ



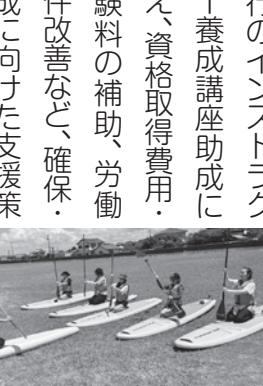
木更津市中学校合同生徒会による国際フォーラムでの宣言の様子

まつ
い
こう
じ
議員



里海体験型観光を 支える人材確保について

ヤック6名のインストラクターが登録され、受入体制は整っていると捉えている。一方で利用者は少ない」とかり、PRや受入体制を強化するとともに、現行のインストラクター養成講座助成に加え、資格取得費用・受験料の補助、労働条件改善など、確保・育成に向けた支援策を検討していく。



著名なインストラクターによるSUP体験会



著名なインストラクターによるSUP体験会

大野俊幸議員

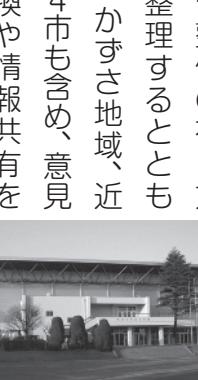


将来の展望について 体育施設の状況

答 令和6年度は
709人、稼働率が
新たに武道館
市民体育館改
模や整備の在り
を整理すると
に、かずさ地域、
隣4市も含め、意
交換や情報共有
を行い検討していく。

問 体育館内の柔剣道場の利用状況は
答 令和6年度は、人数が延べ2万8,709人、稼働率が78・9%である。

問 新たに武道館を建設する考えは
答 市民体育館改築に合わせ、施設規模や整備の在り方を整理するとともに、かずさ地域、近隣4市も含め、意見交換や情報共有を行い検討していく。



市民体育館



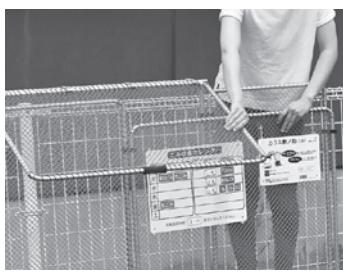
市民體育館

永原利浩



ゴミステーション管理の公私化とルールの統一について

設置や移動も楽な輪番利用の商品例



設置や移動も楽な輪番制用の商品例

吾津松太郎議員



保育士不足を解消して
保育に強い木更津市へ

有効である為、各施設
問 受入可能な施設
答 ホームページに
きもチルアブリでの
問 入園審査は雇用
加え直近の実際就
労時間提出が必要
と考えるが見解は
答 現在一定の公平
性が保たれており
雇用契約上の就労
時間としている。



子どもたちと楽しく遊ぶ保育士の様子



總武線快速の 巣根駅停車について



道の駅「木更津うまくたの里」を 拠点とした地域経済の充実について



企業版ふるさと納税について



江川総合グラウンド・減免申請 について

問 巖根駅東西にエレベーターが設置され、東口にはスマート改札が開設された。残るは總武線快速の停車である。現状での支障となる点は何か

答 つづかりホーム延伸工事費やシステム改修費用等について全額市が負担することになる旨説明を受けていた。

問 では、工事費はいくらくらいか

答 試算では約16億円から21億円だが、物価高騰等の影響も懸念される。

問 一部車両のドアを開閉していない田浦駅と同じ方法でJR側と交渉すべきではないか

答 地形の制約等がない限り対応が困難であると伺っている。



巣根駅東口 スマート改札

問 うまくたの里の地域経済循環向上への取組と回遊性向上の方向性について伺う

答 利用者増加に向け駐車場を拡張。新商品の開発・販売を促進し地域農業の振興と生産者の所得向上を図つてゐる。DMOと連携し、観光スポットなどを組んだ体験型ツアーを造成し、回遊性向上による消費拡大を目指す。

問 ふるさと納税自販機システムがあると、地域商業との連携を強化できると考えるが、見解を伺う

答 商品の会計方法など課題はあるが、調査・研究を進め、検討を行つていて。



川場田園プラザ ふるさと納税自動販売機

問 企業版ふるさと納税とは

答 平成28年度に創設された制度である。国が認定した地域再生計画の事業に対しても、企業が寄附を行つた場合、税制上の優遇措置として最大で寄附額の9割が軽減される制度である。

問 寄附を行う場合の留意点は

答 1回当たり10万円以上の寄附が対象、本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外、寄附を行つことでの代償として経済的な利益を受けないことは禁止されているなどである。

問 いつまで続くのか

答 現在の制度では令和9年度までとされていて。

問 どうに決めたのか伺う

答 「減免申請について」木更津市営体育施設管理規則第12条の規定に基づき、本市及び本市教育委員会が主催する大会等の行事や、木更津市スポーツ協会やその加盟団体が開催する大会などにおいて、全額免除している。

問 市内小中学生の大会ではない練習試合等、全額免除をしてあげてはいかがか伺う

答 現時点では練習試合等の利用にしき引き続き、今後の利用状況や利用者の意見を参考にできる。

問 いつまで続くのか

答 現時点では練習試合等の利用にしき引き続き、今後の利用状況や利用者の意見を参考にできる。

江川総合運動場(野球場)

令和7年の国の人事院勧告や千葉県人事委員会勧告を踏まえ、市職員と同様に議員の令和7年12月期末手当を引き上げ、また、令和8年度以降6月と12月で平準化しようとするもので、全会一致で可決されました。なお、令和4年10月の木更津市特別職報酬等審議会の答申において、市議会議員の期末手当を人事院勧告に準じて改定することは妥当であるとの付帯意見が出されています。



賛否のわかった議案等をお知らせします

他30件の議案等は、原案どおり全会一致で可決しました。

番号	件名	議決結果	吉田真紀人	吉田津松太郎	吉井晃治	松井真澄	藤田文彦	重信彦	安藤順子	齊藤秀樹	佐藤修一	神藏五月	堀切俊一	石井徳亮	竹内伸江	重城正江	永原利浩	座親政彦	渡辺厚子	田中紀子	鶴岡大治	近藤忍	大野俊幸	斎藤高根	三上和俊	草刈慎祐
議第65号	令和7年度木更津市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議第79号	木更津市公共案内看板設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議第94号	令和7年度木更津市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

※表の見方 ○：賛成 ●：反対 -：議長のため採決に加わっていません 欠：欠席

主な討論の内容

※市議会だよりに寄せられた市民の皆様の意見・要望により掲載

議案第65号 令和7年度木更津市一般会計補正予算（第7号）

反対討論 パークベイプロジェクト推進事業費（富士見通り歩道改良）は、令和8年11月に予定しているアーバインマラソン開催までに整備をするため費用の増額をすることだが、歩道のペイントは後回しにすることも可能ではないかとの意見などが反映されているのか不明であり、整備は最低限でよいと考え、反対。

議案第79号 木更津市公共案内看板設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 デジタルサイネージの廃止について、市民の方はスマートフォンで知りたい情報は自身で調べることだが、広告や案内は興味のない方に知らせるのが目的であると考える。また、市民からの意見の中には、良い案だと感じるものが多数あったが実行していないことがあり、存続の検討の余地があると考え、反対。

議案第94号 令和7年度木更津市一般会計補正予算（第8号）

※物価の上昇により生活や経営に影響を受けている市民や事業者を支援するための補正予算です。

反対討論 この補正予算には、アーケードを活用したポイント還元事業が含まれている。しかし、木更津市民に限らず、市外の利用者や企業も還元を受けることができる仕組みとなっている。また、アーケードを利用している市民や、加盟している企業のみが対象となり、公平に配分がされていないと考え、反対。

賛成討論 物価高で困っている市民に少しでも支援が行き渡るのか、また、事務費が過剰ではないかについて懸念があったが、事業費に対して事務費は低く抑えられている。過去に実施した物価高騰対応と比べて特筆すべき事業はないが、速やかに支援内容を取りまとめたことは評価できる。市民へ一刻も早く支援が届くことを願い、賛成。

情報開示制度の施行状況(令和7年)

木更津市議会情報公開条例に基づく、令和7年(1月~12月)の情報開示制度の施行状況を公表します。過去の公表状況は、市議会のホームページをご覧ください。

- ・開示の請求件数 4件(1人)
(令和5年度の市庁舎整備特別委員会協議会及び理事会の議事録(4日分))
- ・不服申し立ての件数 0件



情報開示制度の
施行状況

「市議会だより」ができるまで

今回の市議会だより『第175号:2月1日発行』を例にしてご紹介します。

【本会議 初日】(11月27日)

市長から議案が上程され、内容の説明を受けました。

① 第1回 編集会議(11月27日)

広報委員が市議会だよりの紙面構成や役割分担など、発行計画について協議しました。



【本会議】一般質問(12月2日~4日)

今回は14人の議員が質問しました。質問のあと、各議員は、市議会だよりに掲載する原稿をつくります。

[4~7ページに掲載しています]

常任委員会で議案の審査

(12月9日~11日)

《総務常任委員会》《教育民生常任委員会》
《建設経済常任委員会》

議案を各常任委員会で詳しく審査されました。広報委員は、その様子を傍聴します。

② 議案審議の記事作成

(12月12日)

各常任委員会を傍聴した中から、『市民に伝えたい議案ベスト3』を決定し、記事担当の広報委員が記事を作成します。

[3ページに掲載しています]



【本会議 最終日】(12月18日)

委員会で審査をした議案に対して、討論・採決を行いました。

[8ページに掲載しています]

③ Topicsに掲載する記事の取材 (12月21日)

地域で活動する団体の取り組みを広報委員が直接取材し、記事を作成します。

[1ページに写真・12ページに内容を掲載しています]

④ 第2回 編集会議(12月22日)

⑤ 第3回 編集会議(1月6日)

記事の内容やレイアウトなど、協議し、確認しました。



⑥ 広報委員会(1月13日)

最終チェックを行いました。

印刷工程

業者に印刷を発注

2月1日 発行

意見・感想をお待ちしています。
(詳細は、12ページに掲載しています)



委員会の行政視察

行政視察は、他の自治体が行っている施策等を調査研究し、市民福祉の向上やまちづくり施策に活かそうとするものです。行政視察の調査項目は、委員会の所管事項に関し各委員会で協議して決定しています。

総務常任委員会

令和7年10月2日～3日

- ・北海道函館市 「デジタル変革推進ビジョンについて」
- ・岩手県盛岡市 「中心市街地活性化つながるまちづくりプランについて」
函館市では、デジタル技術やデータの活用により、誰もが便利で快適な住みやすいまちを実現するため「函館市デジタル変革推進ビジョン」を策定しています。市民2,000人を対象にアンケート調査を実施し、市民の意見を反映させた内容となっています。市民向けのスマホ教室の実施、また、一部地域でデジタル回覧板を活用した事例があるなど、様々な取組を行つており、地域DXの進展を実感し有益な参考事例であると考察しました。



函館市での視察の様子

教育民生常任委員会

令和7年10月16日～17日

- ・香川県高松市 「ヤングケアラー支援事業について」
「ヤングケアラー・コーディネーターの取組について」
- ・岡山県倉敷市 「学校給食調理場で行う廃棄される地元産食材のレトルト加工手法の確立モデル事業について」



高松市での視察の様子

高松市では、ヤングケアラー問題を重要な課題の一つと位置付け、福祉と教育部門の連携を可能にする組織づくりを行っています。実態調査と連動し、早期発見から訪問、学習・生活支援まで切れ目ない支援を目指しています。他市の事例を研究し、部署間の連携や民間団体との協力関係を強化することが、より多くの子どもたちを支援につなげる体制の構築に資すると考察しました。

建設経済常任委員会

令和7年10月22日～23日

- ・徳島県上勝町 「ゼロ・ウェイスト事業について」
- ・福岡県宗像市 「道の駅むなかたについて」
上勝町では、2003年に「ごみをどう処理するか」ではなく「ごみを生み出さない」社会を目指し、全国の自治体で初めて、ゼロ・ウェイスト宣言を行っています。本市においても、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進など、ゴミの減量・資源化による資源循環を高める取組のより一層の推進を期待します。



上勝町での視察の様子

交通政策特別委員会

令和7年10月30日～31日

- ・富山県富山市 「コミュニティバスについて」
- ・群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター
「自動運転バスについて」

富山市では、LRT・路面電車・路線バス・コミュニティバスを一体的に整備し、地域主体の自主運行バスを市の支援で導入しています。運賃は100円～200円程度の均一料金に設定されており、運行位置情報アプリやWebを通じたダイヤ情報を提供するなど、利便性と利用者増加に寄与しています。地域自主運行バス補助事業を進める上で、協賛金など地域、行政、事業者が連携した持続可能な運行体制と負担のあり方の議論を深めていく必要があると考察しました。



富山市での視察の様子

行政視察の受入れ

木更津市の特色ある施策について説明や現地見学を行っており、令和7年度はこれまでに延べ15団体を受け入れました。

オーガニックなまちづくりや学校給食への有機米提供、アクアコインが特に注目されています。

視察日	自治体(議会)等名	調査事項
4月23日	熊本県玉名市	電子地域通貨「アクアコイン」の導入・普及促進について
5月12日	鳥取県鳥取市	らづファミ応援隊について
14日	京都府亀岡市	有機JAS認証を目指した「きさらづ学校給食米®」の取組について
15日	愛媛県西条市	消防活動用無人航空機(ドローン)の運用について
6月24日	長野県長和町	自家用有償旅客運送(ふくちゃんバス)について
25日	長野県長和町	有機農業推進の取組について
8月6日	福岡県大牟田市	電子地域通貨「アクアコイン」について
7日	宮城県	有機農業推進の取組について
8日	岐阜県恵那市	学校跡地活用事業について(廃校活用事例)
10月22日	静岡県伊豆の国市	自家用有償旅客運送(ふくちゃんバス)について
23日	茨城県守谷市・ 茨城県つくばみらい市	きさらづ健康アプリ「らづFit」について
11月6日	愛知県蒲郡市	パークベイプロジェクト(主に鳥居崎海浜公園)について
7日	長野県飯田市	オーガニックなまちづくりについて
1月9日	愛知県半田市	きさらづスポーツコミッショナについて
1月14日	岩手県盛岡市	有機農業推進の取組について

令和8年2月1日現在、受入れを行った自治体等

木更津市議会でも、他の自治体の先進的な施策を調査し、今後の活動に役立てるため、各常任委員会や特別委員会、会派ごとに行行政視察を実施しています。

(委員会の視察については10ページをご覧ください)

次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	2/2 本会議 (開会)	3 総務 常任委員会	4 教育民生 常任委員会	5 建設経済 常任委員会	6	7
8	9	10 本会議 (議案審議)	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
3/1	2	3 総務 常任委員会	4 教育民生 常任委員会	5 建設経済 常任委員会	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19 本会議 (議案審議) (閉会)	20	21

12月定例会の傍聴者は延べ38名でした。
3月定例会の特別委員会の開催日時は現在未定です。
詳しくは、議会事務局(電話23-7185)へお問い合わせください。

●声の市議会だよりについて

視覚障がい者を対象に市議会だよりを録音したCDを貸し出しています。また、市議会ホームページからも「声の市議会だより」をお聞きいただけます。

●本会議のインターネット中継について

本会議の映像(生中継及び録画中継)をインターネットでもご覧いただけます。

URL: <https://www.city.kisarazu.lg.jp/gyoseijoho/shigikai/eizouhaishin/8048.html>



派手なことが苦手。そんな人にも輝ける場所を提供したい

本が好き。参加条件はこれだけ

「校庭で遊ぶ子どもの方が注目されがち。教室や図書館で静かに過ごす子ども達にも語りたい『好き』がある。本を通じて自分の思いを言葉にできる。その実感が『ビブリオの会』を立ち上げたきっかけ」だと代表の田中さん。「本を読む」という事は一人で完結しますが、月に1度開催されるビブリオの会ではその間に読んだ本を要約し、5分間でスピーチ。その後、3分間で質疑応答をします。本の種類もミステリー、絵本、エッセイ、短編集等、様々。読んだ本を持ち寄つて紹介することでコミュニケーションが生まれます。



顔より「本!」な集合写真

磨かれるのは読解力だけじゃない

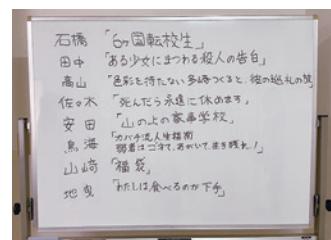
スピーチのやり方も様々。完全にアドリブの方、メモやカンペ、原稿を見ながらの方もいます。最初はうまくしゃべれなくても、回数を重ねることで楽しくなるそうです。それでも容赦なくスピーチ終了のベルが鳴ります。ここで養われる時間内に終わらせるプレゼン能力。取材をしている中で感じたのは対応力、語彙力、度胸、俯瞰力、洞察力等々、可能性は無限だと感じました。



必須アイテム、
タイマーとベル

雑談時間も楽しみの一つ

参加人数も日によって様々です。紹介された本以外にも面白いと感じた本を持ち寄り、共有できるのも楽しみの一つ。時間内では話しきれなかった事をさらに深堀したりもします。



取材日に紹介された本のタイトル

今後の目標は?

「派手な活動ではありませんが、本好き同士は繋がりづらい現状を変えたいという想いと、現在は大人の参加が多いので、今後は年齢、性別問わず参加していただき、年代別の部門などを増やせたら」と田中さんはおっしゃっていました。取材をしながら聞いているだけでも本を読みたくなる楽しい会でした。興味のある方、一度、見学をされてみてはいかがでしょうか。



ビブリオの会インスタグラム
電話: 080-6630-4829
代表: 田中 真弓
※見学も大歓迎!

市議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしています

広報委員会は、市民目線に立って「読みやすい、親しみやすい」紙面づくりを目指しており、スマートフォンからご意見・ご感想を送れるようにいたしました。(右図参照)

なお、従来通り電話、FAX、メール、郵送での送付も受付いたします。

電話) 0438-23-7185 FAX) 0438-22-4734

メール) gikai@city.kisarazu.lg.jp

住所) 〒292-8501

木更津市富士見1-2-1 市議会事務局 宛

こちら編集会議

市議会だよりも、長い文章や伝えたい想いを「要約する」という作業があります。今回の取材先とも共通する部分があり、大変勉強になりました。取材中はこちらが投げた質問に対し、参加された全員の受け答えの的確さに感動しました!!

木更津市議会広報委員会

◎委員長 ○副委員長

◎佐藤 修一 ○田中 紀子

吾津松太郎 松井 晃治

吉田眞紀人

藤田 真澄

スマートフォンでの ご意見・ご感想の送付手順



①上記のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取る。

②画面に表示されたリンク先をタップ。

③簡単な設問に回答。
(自由記述できる欄もあります)

④「確認画面へ進む」をタップ。

⑤記載内容を確認したら、「送信」をタップ。

※いただいたご意見等は、市議会だよりに掲載する場合があります。